

內科學目錄

緒論

第一編 呼吸器病

第一章 氣管支病

(一) 急性氣管支炎	一	(二) 加答兒性肺炎	一〇
(二) 慢性氣管支炎	四	(三) 格魯布性肺炎(真性肺 炎)	一三
(三) 格魯布性氣管支炎(纖維 素性氣管支炎)	五	(四) 肺水腫	一四
(四) 氣管支喘息	六	(五) 肺結核(卽肺癆)	一六
(五) 氣管支擴張	八	(六) 肺膿瘍	一〇
(六) 腐敗性氣管支炎	九	(七) 肺壞疽	一一
(七) 氣管及氣管支狹窄	十	(八) 肺臟梅毒	一二
		(九) 肺二口蟲病	一二

(一) 肋膜炎	一三	(二) 肺臟病	一二
(二) 氣胸	一四		

第二章 肺臟病

(二) 胸水	一五
第二編 消化器病	一五
第一章 口腔病	一五
(一) 加答兒性口腔炎	一六
(二) 潰瘍性口內炎	一六
(三) 亞布答性口內炎	一七
(四) 寄生性口內炎(鵝口瘡)	一八
(五) 壞疽性口內炎(水癌)	一九
(六) 耳下腺炎	一九
第二章 食道病	二〇
(一) 食道癌	二〇
(二) 食道炎	二〇
第三章 胃病	二二
(一) 急性胃炎	二二
(二) 胃擴張	三四
(三) 胃潰瘍	三五
(四) 胃癌	三九
(五) 神經性胃痛	四一
(六) 神經性嘔吐	四三
(七) 胃酸過多症	四五
(八) 胃弛緩症(胃無力症)	四六
(九) 貪食不飽症	四七
(十) 善饑症	四七
(十一) 異嗜症	四八
(十二) 胃肉腫	四八
(十三) 胃肉瘤	四九
(十四) 胃梅毒	四九
第四章 腸病	四九

(一) 慢性胃炎	三四
(二) 胃擴張	三四
(三) 胃潰瘍	三五
(四) 胃癌	三九
(五) 神經性胃痛	四一
(六) 神經性嘔吐	四三
(七) 胃酸過多症	四五
(八) 胃弛緩症(胃無力症)	四六
(九) 貪食不飽症	四七
(十) 善饑症	四七
(十一) 異嗜症	四八
(十二) 胃肉腫	四八
(十三) 胃肉瘤	四九
(十四) 胃梅毒	四九

(一) 急性腸炎(急性腸加答) 四九

兒)

四九

(二) 慢性腸炎(慢性腸加答) 五一

兒)

五一

(三) 蝶突炎(蟲樣突起炎) 五三

兒)

五三

(四) 育腸炎 五五

兒)

五五

(五) 十二指腸潰瘍 五六

兒)

五六

(六) 腸結核 五六

兒)

五六

(七) 腸出血 五七

兒)

五七

(八) 腸穿孔 五八

兒)

五八

(九) 腸癌腫 五九

兒)

五九

(十) 直腸梅毒 五九

兒)

五九

(十一) 腸弛緩症(腸無力症) 六〇

兒)

六〇

(十二) 腸狹窄症 六一

兒)

六一

(十三) 腸閉塞症 六二

三

第五章 肝臟病

六七

(一) 肝臟充血

六八

(二) 肝臟膿瘍

六八

(三) 肝臟硬變

六九

(四) 急性黃色肝臟萎縮

六九

(五) 肝臟梅毒

七〇

(六) 肝二口蟲

七〇

(七) 肝癌

七一

(八) 膽道病

七二

(一) 膽道狹窄及閉塞(鬱滯性黃疸)

七二

(二) 加答兒性黃疸(胃十二指腸性黃疸)

七四

內科學目錄

四

(三) 急性熱性黃疸(重症黃疸)	八三
日本黃疸出血性螺旋蟲病)	七五
(四) 膽石病	七六
第七章 膽臟病(胰臟病)	七八
(一) 脾腺炎	七八
(二) 脾癌	七九
(三) 脾臟囊腫	七九
第八章 (附)脾臟病	八〇
(一) 脾腫	八〇
(二) 脾梗塞及脾膿腸	八一
(三) 脾癌	八二
(四) 遊走脾	八二
第九章 腹膜病	八三

(一) 腹水	八三
(二) 急性汎發性(急性瀰漫性)腹膜炎	八五
(三) 慢性腹膜炎	八六
(四) 腹膜癌腫	八七
第三編 循環器病	八八
第一章 心臟病	八八
(一) 急性心臟內膜炎	八八
(二) 心臟瓣膜病(慢性心臟內膜炎)	九一

(一) 急性心肌炎	九四
(二) 慢性心肌炎	九五
(三) 脂肪心	九六
(四) 心囊炎	九六
第二章 心囊病	九六
(一) 心囊炎	九六

(二)	心囊水腫	九七
第三章	心囊神經性病	九八
(一)	神經性心悸亢進症	九八
(二)	絞心症	九八
第四章	動脈病	九九
(一)	動脈硬化症	九九
(二)	大動脈瘤	一〇〇
第四編	泌尿生殖器病	一〇二
第一章	腎臟病	一〇二
(一)	急性腎臟炎	一〇二
(二)	慢性腎臟炎	一〇三
(三)	萎縮腎	一〇四
(四)	腎膿瘍	一〇五
(五)	腎臟癌腫	一〇五

(六)	遊走腎	一〇六
(七)	腎臟結核	一〇六
第二章	腎盂及膀胱病	一〇七
(一)	腎孟炎	一〇七
(二)	腎臟水腫	一〇八
(三)	腎石症及膀胱結石	一〇八
(四)	膀胱炎	一〇八
(五)	遺尿症	一〇九
(六)	血尿	一一一
第二章	生殖器病	一一三
(一)	陽萎	一一三
(二)	遺精	一一三
(三)	疼痛性陰莖勃起	一一五
(四)	睪丸炎	一一五

(五) 攝護腺炎 一七

第五編 神經系病 一一七

第一章 腦實質病 一七七

(一) 腦貧血 一一七

(二) 腦充血 一一八

(三) 腦出血 一一九

(四) 腦動脈栓塞及血塞 一二〇

(五) 腦膿瘍 一二一

(六) 腦腫瘍 一二二

第二章 腦膜病 一二三

(一) 腦膜出血(腦膜卒中) 一二三

(二) 出血性硬腦膜內層炎 一二三

(三) 急性化膿性腦膜炎 一二四

(四) 結核性腦膜炎 一二五

(五) 流行性脊髓腦膜炎 一二六

第三章 脊髓病 一二六

(一) 脊髓炎 一二六

(二) 急性脊髓軟膜炎 一二七

(三) 慢性脊髓軟膜炎 一二七

(四) 脊髓癆 一二八

(五) 小兒急性脊髓前角炎
(腦性痙攣性小兒麻

第四章 末梢神經病 一三〇

(一) 顏面神經麻痺 一三〇

(二) 橋骨神經麻痺 一三一

(三) 尺骨神經麻痺 一三三

(四) 長胸神經麻痺(前大鋸
肌麻痺) 一三一

(五)	坐骨神經麻痺	一三三
(六)	神經痛	一三三
(四)	頭痛	一三六
(五)	偏頭痛	一三六
(六)	神經炎	一三七
(七)	中毒性神經炎	一三八
	第五章 神經系官能病	一三九
(一)	癲癇	一三九
(二)	小舞蹈病	一四一
(三)	臟躁症(歇私的里)	一四一
(四)	神經衰弱症	一四三
(五)	量船症	一四五
	第六編 全身病	一四五
(一)	貧血	一四五
	第一章 血液病	一四五
	七	

(二)	萎黃病	一四六
(三)	白血病	一四七
(四)	紫斑病	一四八
(五)	壞血病	一四九
(六)	血友病	一五一
	第二章 新陳代謝病	一五一
(一)	糖尿病	一五三
(二)	尿崩症	一五三
(三)	肥胖症	一五三
(四)	痛風(尿酸性關節炎)	一五四
(五)	關節風濕症(關節僂麻質斯)	一五六
(六)	肌肉風濕症(肌肉僂麻質斯)	一五七
(七)	腳氣	一五八

(八)	佝僂病	一五九
(九)	骨軟化症	一六〇
第三章 內分泌腺病		一六一
(一)	粘液水腫	一六二
(二)	拔塞多氏病(甲狀腺機能亢進)	一六三
(三)	阿狄松氏病	一六二
(四)	糖尿病及尿崩症	一六三
(附)	編者實驗摘要	一六五

內科學

張崇熙醫師編

緒言

內科症狀至繁。原因複雜。中醫以風，寒，暑，濕，燥，火六氣而分類。西醫則以病變之部位而區別。歷來內科學範圍分有下列種種。即呼吸器病，消化器病，循環器病，泌尿生殖器病，神經系病，全身病，內分泌腺病，新陳代謝病，有系統不紊之編制。無五行六氣之舊說。茲按次詳述於後。以便學者研討。

第一編 呼吸器病

第一章 氣管支病

(一) 急性氣管支炎 Bronchitis acute

(原因) 本病原因有種種。如鼻加答兒，喉頭加答兒之波及，塵埃吸入，化學的刺戟等。或爲麻疹，傷寒，百日咳，流行性感冒等病之一分症。

(症狀) 體溫略高。食慾減退。精神倦怠。咽頭搔癢。常發乾咳。咳嗽甚時。且

覺胸痛。咯痰初期無之。卽有亦甚少。僅見透明粘液性分泌物。經過多日。漸次咳嗽輕鬆。咯出帶黃色粘膩之膿痰。打診肺音響正常無變。聽診時有粗糙肺胞呼吸音或類鼾音。有多量痰液時。得聞濕性大水泡音。若炎症入毛細氣管支。則管腔爲之狹塞。患者往往發高熱。呼吸困難（常見鼻翼呼吸）。顏面蒼白。苦悶不安。脈搏頻數。呼吸數增加。聽診有瀰漫性小水泡音。

（診斷）依據喉頭搔癢，乾咳，咯痰狀態，以及聽診上病變等。頗易診斷。倘呼吸頻數。發現困難（鼻翼呼吸）。同時又有瀰漫性小水泡音聽得者。是則爲毛細氣管炎之證。

（療法）本病發生之時。有熱者。以安眠爲要。胸腹背諸部。用溫濕布纏覆之。每日三回。每回二小時。有大效。此外熱水沐浴，飲熱飲料，服退熱發汗劑。均爲本症適當之治療。一方注意居室及衣服。保持平均之溫度。一方力避談話吸煙等。以防障害之刺戟。乾性咳嗽咯痰不爽或痰多時。用祛痰劑。有虛脫之虞者。用強心興奮藥。

（處方）（二）阿司必林 *Aspirinum*

上爲一包臨臥頓服（退熱發汗用）

(11) 水楊酸鈉 *Natrium salicylicum*

1•○

乳糖 *Sacch. lact.*

1•○

(11) 鹽酸嗎啡 *Morphin hydrochloricum*

○•○五

乳糖 *Sacch. lact.*

三•○

上分爲十份每份半時服一包(劇咳用)

○•○三

(四) 磷酸科亭 *Codain phosphoricum*

○•五

乳糖 *Sacch. lact.*

三•○

(五) 吐根凜 *Infus ipecacuanhae*

(○•五) 一八〇•〇

糖漿 *Sirup. simplex*

一•五

每二小時一茶匙內服(吐痰困難用)

一•五

(六) 吐根丁幾 *Tinc. ipecacuanhae*

三•○

阿母尼亞茴香糖 *Spiritus ammonia foeniculi*

一〇•〇

糖漿 *Sirup. simplex*

一〇〇•〇

餾水 *Aq. dest.*

(七) 遠志丁幾 *Tinc. senegae*

一•五

阿母尼亞茴香精 *Spiritus ammonii foeniuli*

III • O

阿耳退糖漿 *Syrup ataeae*

10 • O

馏水 *Aq. dest*

100 • O

上每兩時一茶匙(吐痰多時用)

(1.2) 慢性氣管支炎 *Bronchitis chronicus*

(原因) 本病俗名久咳。大抵由急性氣管支炎反覆侵襲遷延不治而成。亦有初發時即為慢性者。常見於老人。此外凡氣管支粘膜受經久之刺戟。亦能發此。故於磨作匠，紡織工，石灰職工，礦夫，漆匠，大吸煙家，大酒家亦往往罹之。

(症狀) 咳嗽咯痰。早晚尤甚。無熱候。有時亦呈微熱。咳嗽常以氣候之變化及寒冷之季節而增劇。咯痰有僅微者。有饒多者。多為粘液痰。打診肺無變化。肺境界大抵擴張。聽診聞水泡性呼吸音。稍帶粗糙。或發笛音。本病咳嗽有變成惡臭者。即所謂氣 腫漏 (*Bronchohlemonorrhoe*) 是也。

(診斷) 根據所發症狀。不難診斷。

(療法) 與急性和。避塵埃煙酒有害物。硫黃浴，熱浴，或行轉地治療亦有效。痰性粘稠咳出困難者。用碘化鉀。(一日二次。每次〇・一二〇・三)。劇咳時用

少量鎮咳劑，有心臟病者用毛地黃製劑，或安息香酸鋸等。

注射藥可用葡萄糖鈣，碘化鈣，氯化鈣等。倘已成氣管支膿漏。則可應用松節油吸入（松節油數滴入熱水後，行吸入法）。或注射特朗補命 Transpulmin 等。

急慢性氣管支炎內服新藥。可用法邁氏止咳糖汁 Sirop Famel，知阿可爾 Thiocol，須羅靈 Sirolin，克司大納 Cocidana，撲脫嗽 Pertusal，咳利舒開 Kresocal，臣咳定 Pacdin，安嗽精 Antihastin Liq 等。

(二) 格魯布性氣管支炎（纖維性氣管支炎）Bronchitis crouposa, Bronchitis fibrinosa

(原因) 本病較爲稀有。真因不明。見於肺結核，肺膿瘍，急性傳染病之經過中，碘中毒，或有害氣體之刺戟。皆易誘發。

(症狀) 特徵爲氣管支內形成纖維素性義膜。覆於氣管支粘膜上。往往隨咳嗽而出。故咯痰常有白色細長物。分歧而呈樹枝狀。本病有急性慢性之別。急性症。侵襲多數之氣管支。常伴發熱與危險之呼吸困難。數日後。氣管支中之義膜。隨痰逐漸排除。症狀亦見消退。慢性症。侵襲小氣管支。頻年累月。或發或止。並無熱候。但發作時。則有呼吸困難。咯痰所見。與急性同。

(診斷) 注意咯痰中有特殊之樹枝狀義膜形成物。並有發作性之呼吸困難。

(療法) 內服碘化鉀，吐根劑等。用石灰水或炭酸鈉水吸入。以促凝固物溶解。

或謂砒劑對於本症。亦能奏大效。常用處方如下。

(處方) (一) 石灰水 *Aqua Calcariae*

溜水	<i>Aq. dest</i>	100.0
----	-----------------	-------

上爲吸入劑

(1) 碘化鉀 *Kali iodatum*

三•〇

苦味丁幾 *Tinc amara*

四•〇

糖漿 *Sirup simplex*

10•0

溜水 *Aq. dest*

100.0

上二日量每日三回

(四) 氣管支喘息(氣喘) *Asthema bronchiale*

(原因) 喘息爲頻發頻止之呼吸困難症也。心臟病，腎臟病，水揚酸中毒，神經質，臟躁症，偏頭痛，滲出性體質之小兒，罹鼻腔咽頭及氣管支病者。易發本病(症狀) 常於夜間突然發作。以呼吸困難爲主徵。熱候缺如。不能安臥。輒坐起以舒呼吸。顏面青紫。冷汗淋漓。呼吸反延長而不能速。發類鼾音及笛音。打診音清朗而低。且帶鼓音。胸廓擴張。肺下界下降。心濁音部縮小。聽診兩肺全部。有瀰漫性乾性水泡音，笛音。每次發作持續數小時。發作之初。咳嗽不甚著。

迨至漸愈時。咳嗽反增。咯出黃色或黃綠色之痰。爲粘液狀。有透明泡沫。含有淡黃色顆粒狀小凝固物。名曰 Charcot 氏結晶。發作後患者恢復如常。

(診斷) 呼吸困難。突然發作。黃綠色痰及異物，聽診上病變等。爲診斷要點。
(療法) 發作時。先令病人取便於呼吸之位置。注射嗎啡或阿刀邊於皮下。可抑制其發作。內服硫酸麻黃素，抱水格魯拉兒等。或鹽化腎上腺素液 Adrenalin Chl.
orid.，艾司摩列星 Astmholysin 等注射於皮下。亦有大效。或用下方。

(處方) (一) 硫酸麻黃素 *Ephedrin sulfuricum. Tablets* 三片

上每日三回每回一片

(II) 抱水格魯拉兒 *Chloral hydratum*

1•0

上放入溫水一次頓服

(III) 煙酸科亭 *Codain phosphoricum*

○•1五

乳糖 *Sacchar lact*

1•0

上爲五包每發作時一包

(四) 吐根末 *Pulu radix Ipecacuanhae*

○•1

庶斯膏 *Ext hyoscyami*

○•1

硫酸規寧 *Chinin sulfuricum*

1•0

白糖 *Saccharum*

1•0

上為十包每三時一包

發作休止後。連續注射安妥碘 Entondon 或用下方。可預防其再發。

(II) 碘化鉀 *Kali iodatum*

三〇〇

橙皮糖漿 *Sirup auranti corticis*

一〇〇

溜水 *Aq desci*

一〇〇〇

上一日三回每回一格二日分服

氣喘注射新藥甚多。例如逆伏靈 Reprin、拉西特靈 Racedrin、半代柴而麻黃精 Cardiazol-Ephedrin、安泰斯多 Antasthol，加佛特靈 Caphedrin，壓氣抹嘴注射液 Asthmasal Amp等均有特效。
內服新藥。可用拉西特靈片 Racendrin Tab，半代柴而麻黃精片 Cardiazol-Ephedrin Tab，沃度鈣化代猶雷添 Jod-Calcium-Diuretin，壓氣抹嘴片 Asthmasal Tab，亞歷佛耳 Alival，沃度拚 jodipin，安度沃碘 Endojodin等。

(五) 氣管枝擴張 Bronchiekstase

(原因) 多續發於慢性氣管支炎，慢性肋膜炎，肺炎，以及麻疹，百日咳之後。
(症狀) 限局性者。僅有少量咳痰。症狀不甚顯著。瀉蔓性(即汎發性)者。吐出多量膿性痰為特徵。尤以清晨為最烈。患者往往於晨起時。先發咳嗽。即有大量痰之一回從口鼻衝出。取其痰放置之。少頃分成三層。上層為泡沫之粘液性膿液。

。中層爲帶黃綠色之漿液。下層爲粉屑狀之膿塊。而下磨痰中。常有黃白色之顆粒。以顯微鏡檢之。則見有脂肪結晶。本症常併發腐敗性氣管枝炎。故所咳出之痰常惡臭。再氣管支炎擴張之結果。易生潰瘍及壞疽。管壁血管破損。往往屢來咯血。聽診時擴張不大者。僅聞少數濕性水泡音。如成爲空洞。則打診可聽得鑼性音。聽診有濕性大水泡音。

(診斷) 晨起有大量膿性痰咳出。痰分三層而易沉澱。聽診上有濕性水泡音。
(療法) 以抑制膿性分泌物及輕減其腐敗性分解爲主。內服克雷沙忒·松節油。
或用松節油數滴入熱水中作吸入劑。對於合併腐敗性氣管支炎。可注射特朗補命
TransPulmin，託靈保賽而注射液 *Transpulm Amp*，雙治拍菌 *Transpoin* 等。

(六) 腐敗性氣管支炎 *Brochitis foetida*

(原因) 多爲續發性。因腐敗菌之作用使痰腐敗而起。往往見於肺結核，氣管支擴張，慢性氣管支炎，肺壞疽等之後。

(症狀) 患者初起惡寒戰慄。其後漸重篤。咳嗽放腐敗樣刺激性惡臭。尤以痰甫咳出時最爲顯著。取直立姿勢。則咳嗽中止。身體再動搖時。則復咳出。呼氣亦帶惡臭。